

UDXオープンカレッジ 第3回パークマネジメントと次世代公園研究会

企業立公園『赤城自然園』の目的と開発運営手法



2014年11月13日

株式会社クレディセゾン

営業企画部プロモーション戦略グループ

藤原 聡子

**【所在地】**

群馬県渋川市赤城町南赤城山892

TEL:0279-56-5211

【面積】

約120ヘクタール(約36万坪)

≒東京ドーム26個分

一般開園エリアは約60ヘクタール

【標高】

600~700m 赤城山西麓

【アクセス】

関越自動車道「赤城」I.C.より車で10分
(練馬IC→赤城ICは約80分)

JR上越線「渋川」駅よりタクシーで20分



「花を育てるのではなく、環境を整えることで植物が育つ手助けをする」

30年近い歳月をかけ、植物がいきいきと育つ手助けをするという方針のもと
元はマツやスギの雑木林を、種類豊富な樹木や花々が育ち、豊かな日本の四季に
触れることができる森に再生した赤城自然園

東洋一の規模を誇るシャクナゲ園など美しい
ガーデンもあれば、木々の中で山野草が可憐に
咲く心地よい森も広がっています

120ヘクタールの広さを誇る敷地内では、

北関東に生息する植物や昆虫のほとんどの種類を自然に近い形でご覧いただけます
歩きやすい遊歩道は、お子様からお年を召された方まで無理なく散策していただけます
また、お手洗いや休憩施設なども整っていますので、安心してお過ごしいただけます



「次世代を担う子ども達にこの豊かな自然を引き継ぐ」ため、2010年より
皆さまのご支援のもと、CSR活動のひとつとしてクレディセゾンが運営しています

カード会社がなぜ森の運営を？

[沿革]

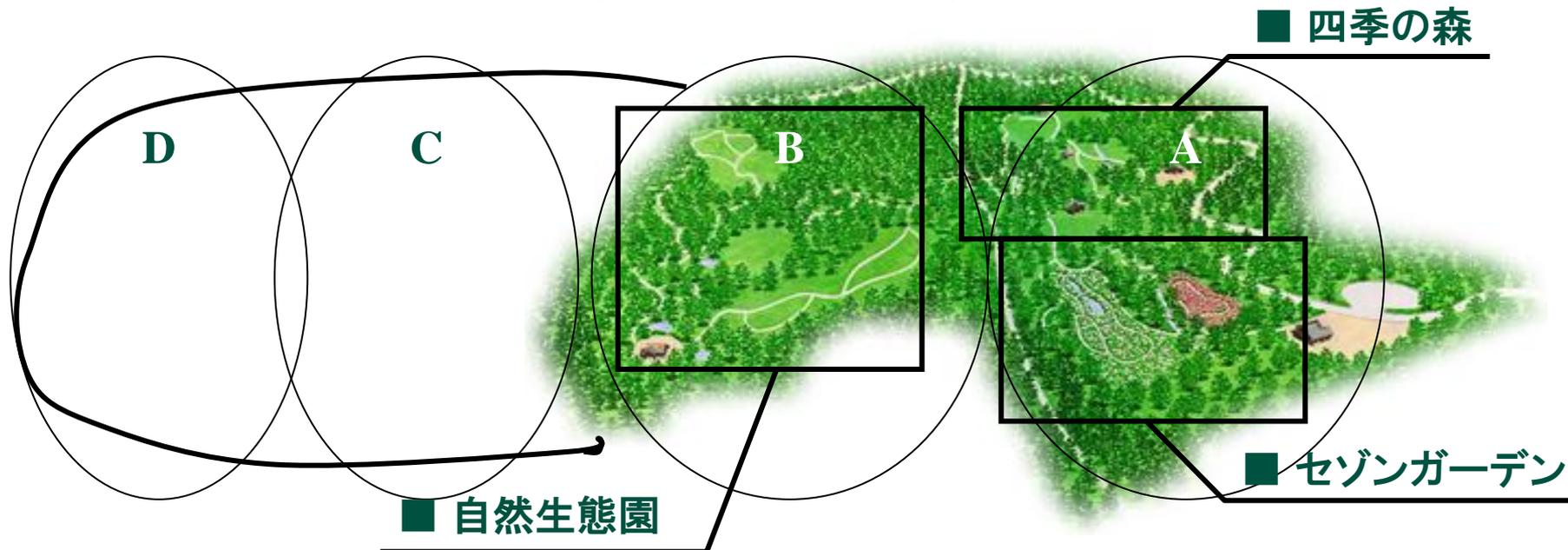
- 1971年 西武都市開発(株)(後の株西武環境開発)が別荘地分譲・ゴルフ場等のリゾート開発を目的に不動産取得を開始
- 1980年 散在する物件を統合し、ほぼ現在の形を形成
- 1986年 赤城自然園の方向性を明確化し、行政へ計画概要を提示
- 1987年 「保安林の一部解除 保健保安林指定」が認可される
- 1988年 (株)西洋環境開発が当該資産を(株)西友へ譲渡
- 1990年 (株)西友(後の合同会社西友)が地元地権者などより土地一部取得
- 1993年 森林整備に伴い、地元関係者に部分的にテスト開園
- 2009年 運営会社を(株)クレディセゾンに変更
- 2010年 4月より開園

[計画概要]

- 1987年計画協議書より抜粋 -

- 西武セゾングループが、21世紀の課題「人間活動と自然の平和的共存」に挑戦し
新しい自然の存在形態を発見し創出して広く市民生活の発展に寄与することを目的とする
- 既存の保安林の最有効活用をし、保安林機能を維持しながら「自然と人間の共生」できる
自然観察園づくりを目指す
- 教育、自然保護環境研究、自然環境形成事業など美しく快適な国民生活を創造するための
総合自然観察園にする

Aゾーン [セゾンガーデン・四季の森]	快適な森の散策・東洋一のツツジ・シャクナゲ園
Bゾーン [自然生態園]	昆虫をテーマとした野外昆虫園・昆虫館
Cゾーン (未公開・イベントにて使用)	森の生活をテーマとしたキャンプ場
Dゾーン (未公開)	赤城の自然をそのまま残した自然保護区



2009年

取得

- ・経営企画部主導で取得検討
- ・タスクフォースにて運営計画を策定(運営は各部分担)
- ・現地には社内公募で選んだ東京支店営業課長を配置

2010年

移行期

**【課題①】ランニングコストの財源
旧セゾングループ団体への寄付金と入園料収入では足りない
⇒協賛金を募る(参画者を増やす) 初年度20社→2014年度32社**

(当社)・環境保全や自然園運営のノウハウないがやってやれないことはない
 大きなギャップ ↑ 投資した限りはリターンを求める
 (現場)・旧オーナーのように現地に任せる体制を想定・希望

**【課題②】名ばかり運営から、本当の運営主体への道
23年に亘り園を守り続けてきた現場と当社との不協和音
タスクフォースでは限界あり
⇒専任部隊をつくり本格的に自然園運営に着手(営業企画部に設置)**

2011年

習得期

- ・園長と正面から向き合って、園のポリシー・運営ノウハウなど吸収
- ・2011年より新体制で運営

2013年

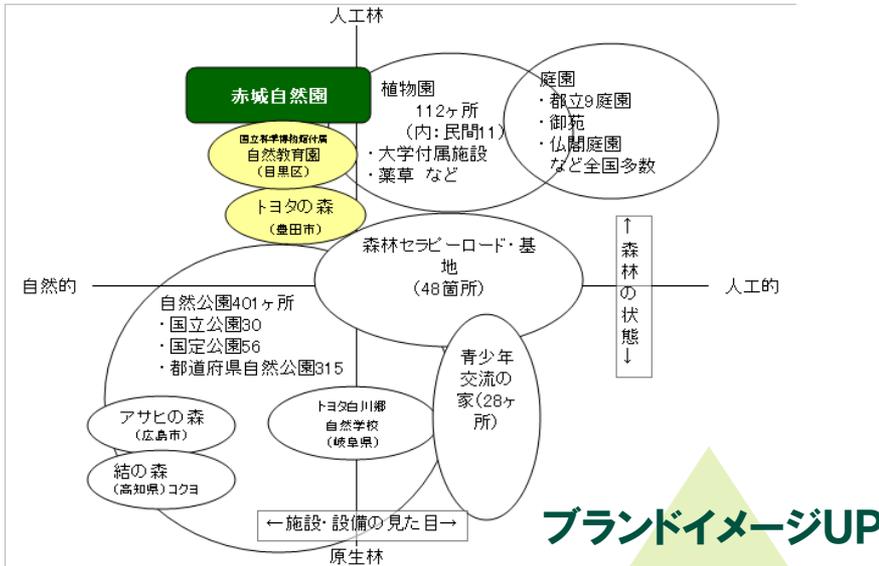
本格運営

**【課題③】クレディセゾンが運営する意義・意味は？
赤城自然園のポテンシャル、世の中と当社にとっての位置づけの整理
⇒中期運営計画(5ヵ年)を策定・実行
コラボレーション経営によってマルチプルな収益源を持つノンバンクを
目指す当社のシンボリックな存在にする**

赤城自然園の位置づけの整理

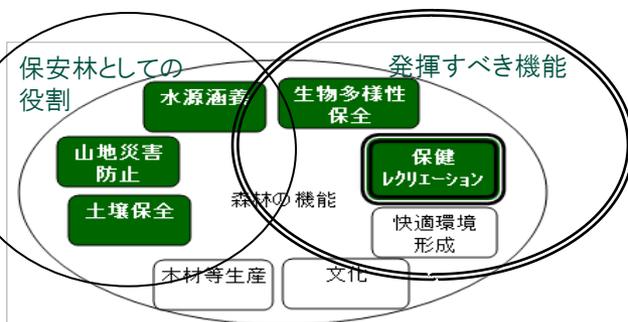
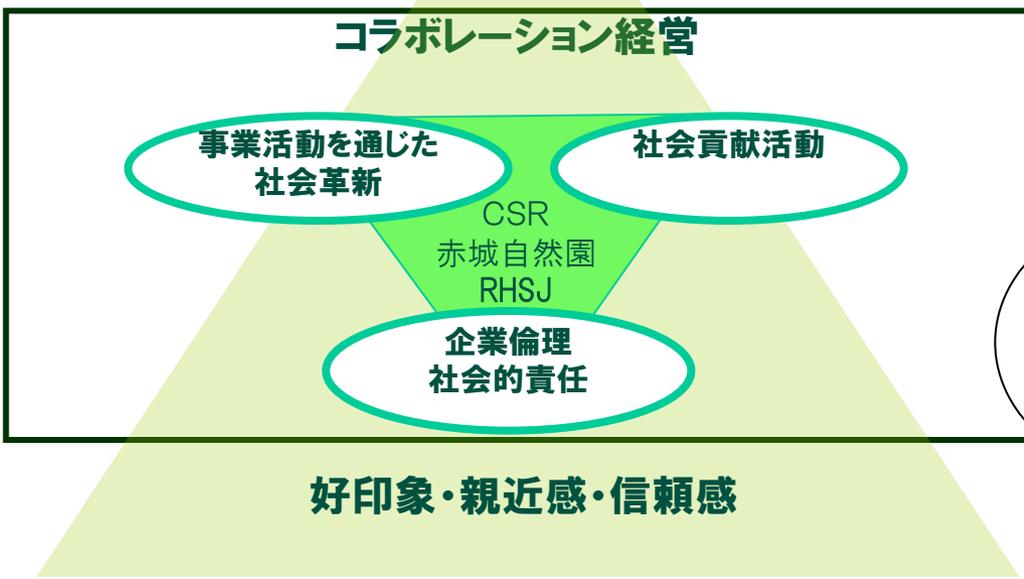
赤城自然園

Akagi Nature Park



<ul style="list-style-type: none"> ●若者(20代~30代) ・アクティビティ ・トレッキング・キャンプ 	<ul style="list-style-type: none"> ●カード会員 ・カード優待施設(500円) ・当社への好印象→ブランドイメージUP ・当社優良会員への優遇 (アメックス・ゴールド) 	<ul style="list-style-type: none"> ●群馬県 行政 ・関東圏からの集客施設 ・赤城エリアの観光施設 ・保安林としての保全
<ul style="list-style-type: none"> ●働き盛り(30代~50代) ・アクティビティ ・趣味の場、癒しの場 	<ul style="list-style-type: none"> ●協賛企業 ・クレディセゾンとおつきあい ・CSR活動 ・ブランドイメージUP 	<ul style="list-style-type: none"> ●地元企業 ・近くにある希少な自然園 ・社員の健康保全に最適 ・ストレス解消の地 ・「くまの宝」CSRとしてサポート
<ul style="list-style-type: none"> ●子供を持つ親・教育機関 ・自然に触れる、知る ・五感で感じる →豊かな感性を養う ・安心して遊ばせる環境 ・子どもでも無理なく散策 	<ul style="list-style-type: none"> ○来園者 ・豊富な山野草 ・ガーデン(花々) ・自然観察 ・森林浴 ・写真撮影場所 人工物が無い デザインされた空間 ・歩きやすい散策路 ・野鳥観察 ・昆虫観察 	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px;"> <p>赤城自然園の価値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北関東のほとんどのいきものあり ・植物がいぎいぎ育つ環境整備 ・安心・安全に散策できる施設・設備 ・人工の自然園(デザイン性高い空間) ・東京から1.5hのロケーション ・未開園エリア60ha </div>
<ul style="list-style-type: none"> ●RHSJ ・提携ガーデン ・子ども自然観察会 ・ガーデンニング実地場所 	<ul style="list-style-type: none"> ●地元コミュニティ ・写真、俳句、詩、写生 ・散策 ・障害者施設満足 	<ul style="list-style-type: none"> ●旅行会社 ・関東圏からの日帰りツアー ・希少な花々を愛でる場所 ・写真撮影
<ul style="list-style-type: none"> ●メディア ・広告主 ・四季折々の花々の話題 		

・他に日本中から、憧れの場所訪れてみたい園



誰も知らなかった『秘密の花園』を『みんなの癒しの森』に

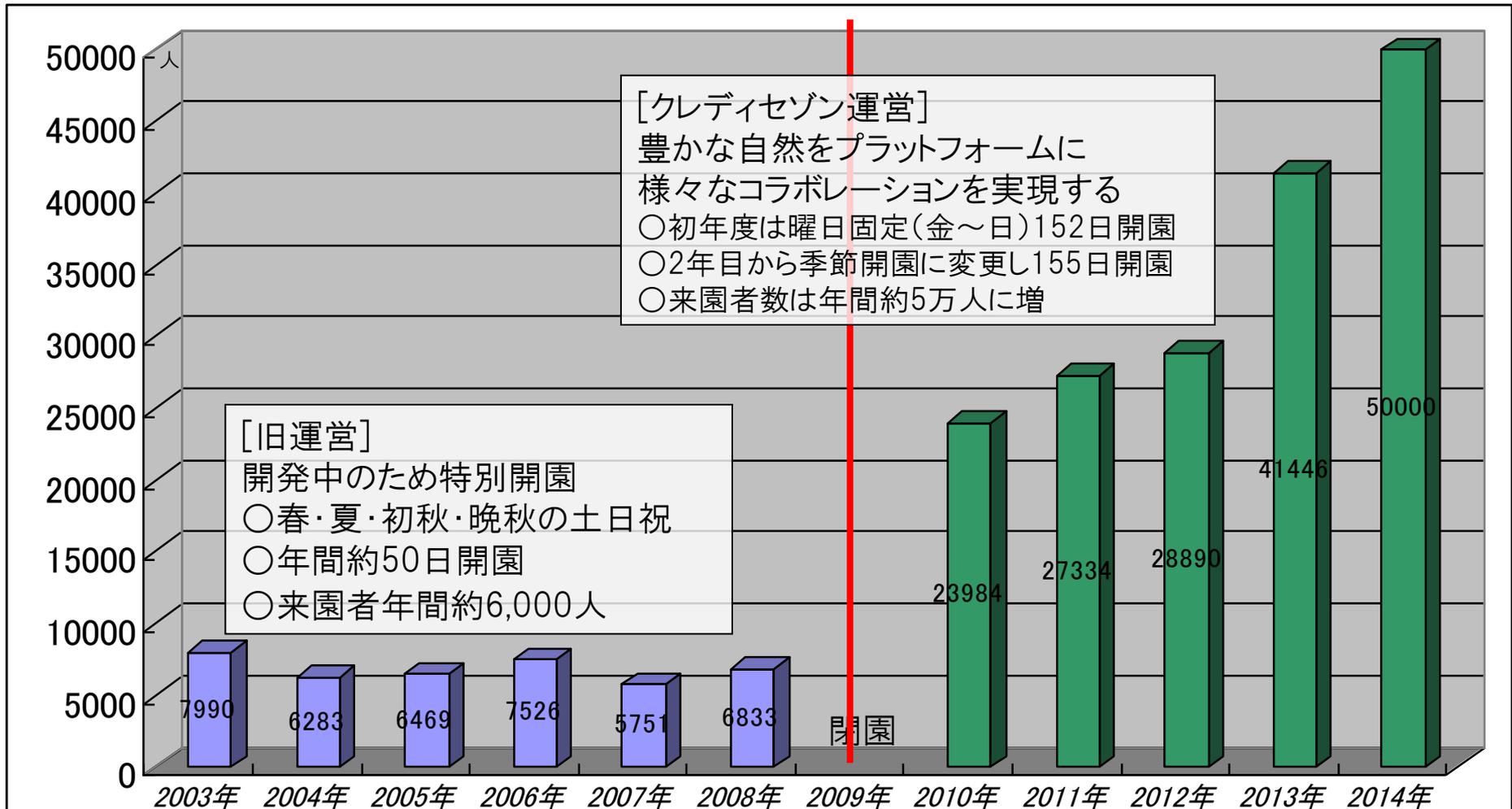
旧セゾングループのメセナ活動の遺産を引き継ぎ
「誰にでも優しく、安心・安全に「自然」を楽しむことができる自然園」に



ビジョン： 世界の中で「いつかは訪れてみたい」と憧れるオンリーワンの自然園

- 様々な企業や団体、個人とのコラボレーションによってポテンシャルの最大発揮を目指す
- 来園5万人に向け、自社会員(約3,500万人)、メディア、SNS等活用し認知向上を図る

来園者数の推移



当社の自然園運営の特徴

●CSR活動であると同時に、重要な(広義の)営業拠点と位置づけ、直接運営

- ・営業企画部に担当部門を設置
最初の2年は営業戦略グループ、3年目からプロモーション戦略グループと
本社に設置
- ・現地のオペレーションも自社で行う
運営管理者 正社員2名 受付・自然観察員など 契約社員14名
整備業者 造園業者1社・林業者1社 (過去10年以上変わらず)
- ・園スタッフの高いホスピタリティ
自社スタッフの来園者への対応、園の心地よい雰囲気、お褒め、感謝のお言葉多数
リピーター多数→他の植物園・庭園などとの差別化となる

当社の自然園運営の特徴

●多くの賛同者を巻き込み、自然をプラットフォームに新たな価値の創造を目指す

・協賛企業 32社

私たちは、赤城自然園の環境保全活動をサポートしています。



・年間パスポート兼サポーター証ホルダー一年々増加

初年度90人⇒318人⇒446人⇒1,001人⇒本年1,114人（初年度比1237.8%）

・多種多様なイベント会場として利用（2014年『森林セラピー基地』認定）

山田昇記念財団 … 季節毎に児童福祉施設の子供達を招いて「森を探検しよう！」開催

共同印刷 … 昆虫観察会、ナイトハイク、アサギマダラマーキングなど毎年開催

GENOVA … 「お医者様と出会う赤城自然園婚活イベント」を開催予定

健康保険組合 … ウォーキング大会を実施(本年は2回 計1200人来園)

東京大学オリエンテーリング … 赤城山オリエンテーリングの基地として利用(1000人)

ウェディング写真撮影… 結婚式の前撮り ドレスを着て歩ける森は稀有



春の見どころ

● 様々な花々が咲き競う春



東洋有数の規模を誇る「シャクナゲ園」

木々が芽吹き、若葉がみずみずしい春は様々な花々が競い合うかのように次々に花開きます。12万球以上群生するカタクリや1,000株ものシラネアオイ、ヤマシャクヤク、シャクナゲなどが園内を彩ります。訪れるごとに、新たな植物との出会いをお楽しみいただけます

● 春に見頃を迎える主な植物

■ 4月

カタクリ・アカヤシオ・サンカヨウ・ヒトリシズカ

■ 5月

シラネアオイ・ヤマシャクヤク・ヤマブキソウ・シロヤシオ・シャクナゲ

■ 6月

オオヤマレンゲ・クリンソウ



アカヤシオ



カタクリ



ヒトリシズカ



シラネアオイ



ヤマシャクヤク



ヤマブキソウ



オオヤマレンゲ

夏の見どころ

●緑眩しく吹き抜ける風が爽やかな夏



木々の緑が美しい夏は、川のせせらぎや吹き抜ける風が爽やかです。
夏の森には、個性的な花々が咲きます。
色鮮やかなキキョウの群生や豊かな芳香を漂わせるヤマユリ、そしてお辞儀をしているかのように咲く「森の妖精」「レンゲショウマ」など、様々な花が園内を彩ります。

●夏に見ごろを迎える花々

7月

ヤナギラン・オカトラノオ・チダケサシ
キキョウ・ヤマユリ・オオバギボウシ

8月

レンゲショウマ・コバギボウシ・
キツネノカミソリ・オミナエシ・
コオニユリ



キキョウ



コオニユリ



ヤマユリ



レンゲショウマ



カブトムシ

初秋の見どころ

● 渡りチョウ「アサギマダラ」が飛来



アサギマダラとフジバカマ

秋風にそよぐ山野草が涼やかな初秋。
フジバカマの香りに誘われて、渡りチョウ「アサギマダラ」が飛来し、優雅に舞います。
1,000キロ以上を移動するこの美しいチョウの生態は未解明で、赤城自然園では生態調査のためのマーキングを行い、お客様にもご参加いただいています。

● 初秋に見ごろを迎える花々

オミナエシ・ワレモコウ・レイジンソウ
フジバカマ・サラシナショウマ・
マツムシソウ・シュウメイギク・
ヒガンバナ・ツルニンジン・
キバナノアキギリ



ワレモコウ



サラシナショウマ



オミナエシ

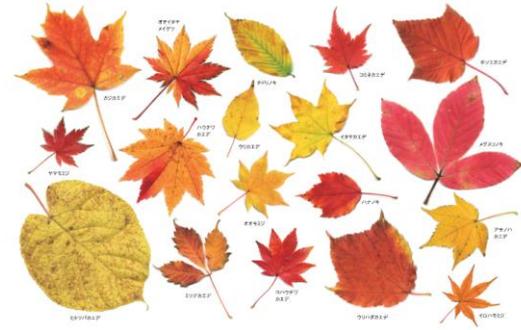


レイジンソウ



シュウメイギク

晩秋の見どころ



● 広大な森が秋色に染まる晩秋



ブナ林の紅葉

森が冬支度をはじめの晩秋。20種類以上あるカエデをはじめ、種類豊富な木々が紅や黄に鮮やかに染める園内。「ブナ林」や「アカマツ広場」を散策しながら心安らぐひとときをお過ごしいただけます。また足元に可憐に咲く秋咲きシクラメンやリンドウ、ツリバナなどの艶やかな木の実も彩りを添えます。

● 晩秋に見ごろを迎える植物

花：秋咲きシクラメン・リンドウ・アワコガネギク・ハナラッキョ・ハバヤマボクチ

実：ツリバナ・ユキザサ・コブシ・ムラサキシキブ・サワフタギ・サンショウバラ・ヤマグリ



ハバヤマボクチ



ツリバナの実



秋咲きシクラメン



アワコガネギク



リンドウ

●2015年度の開園について

■開園期間

春： 4月 3日(金) ~ 6月 7日(日)

夏： 7月10日(金) ~ 8月23日(日)

初秋： 9月11日(金) ~ 10月 4日(日)

晩秋： 10月17日(金) ~ 11月15日(日)

※期間中のお休みはありません



■時間 9:00~16:30 ※入園は15:30まで

■入園料 大人:1,000円 小人(小学生~高校生):300円

みなさまのお越しをお待ちしております！